

「振り返るとどれにも意味があるし、全てつながっているんだな」

TOKYO FM サンデースペシャル

『AGF® presents 原田知世「音楽と私と35年」』

2017年7月16日(日) 19:00~19:55 放送

TOKYO FMでは7月16日(日)19時からサンデースペシャル『AGF® presents 原田知世「音楽と私と35年」』を放送します。デビュー35周年の記念日となる7月5日(水)にセルフカバーアルバム『音楽と私』を発売した原田知世と、2007年の作品『music & me』以降のプロデュースを手がけている伊藤ゴロー、番組進行役に川瀬良子が出演、原田知世の歴代のヒット曲とともに当時を振り返りました。どうぞ楽しみに。

◆「うれしくて長崎の姉に電話して、ユーミンのデモテープを聴かせたんです！」(原田知世)



7月16日(日)19時から放送のTOKYO FM サンデースペシャル『AGF® presents 原田知世「音楽と私と35年」』では、デビュー35周年を迎えた原田知世と彼女の代表曲のセルフカバー集『音楽と私』(発売中)のプロデュースを手掛けた伊藤ゴローを迎えて、これまでの彼女の音楽活動の軌跡を、楽曲とともに振り返ります。

原田知世は「35周年ということで、昔の曲を今の声で歌うのが、一番喜んでもらえるのかな、と思いました。先日アルバム発売記念イベントを行ったのですが、ファンの方が喜んでくださっているのが伝わってきました」

松任谷由実が作詞・作曲を手掛けた初期の名曲『時をかける少女』について、初めて曲を聴いたときのエピソードも。「うれしくて長崎の姉に電話して、「こんな曲なんだよ」とラジカセを受話器に当てて聴かせてあげました！(同じくユーミンが手がけた)『ダンデライオン～遅咲きのたんぼ』もそうですが、大人になった今のほうが、歌詞がすごく響いてくるんですね。素晴らしい作品をいただきました」と語りました。

さらに、当時「ニューカレドニア・ブーム」を巻き起こした原田知世主演の映画『天国にいちばん近い島』と同名主題歌、ニューカレドニアでの衝撃の(!?)撮影秘話、90年代トーレ・ヨハンソンが手がけたヒット曲『ロマンス』を、スウェーデンにあるトーレのスタジオでレコーディングしたときのエピソードなど、たっぷりと語ります。

また、味の素AGF(株)「ブレンディ®」のCM撮影秘話も語りました。7月16日(日)19時からの放送を、どうぞご期待下さい。

【番組概要】

- ◆タイトル: TOKYO FM サンデースペシャル『AGF® presents 原田知世「音楽と私と35年」』
- ◆放送日時: 2017年7月16日(日)19:00~19:55
- ◆出演: 原田知世、伊藤ゴロー、川瀬良子(進行役)
- ◆放送局: TOKYO FM

【作品情報】

時をかけてきた、うたの花束。

デビュー35周年記念アルバム。代表曲をオール新アレンジでセルフ・リメイク。

『音楽と私』



品番:UCCJ-2141

発売元:ユニバーサルミュージック合同会社

1982年のデビュー以来、女優と歌手の両輪で活躍を続けている原田知世。デビュー35周年を記念し、デビューから現在こいたるまでの歌手としてのキャリアを代表するナンバーをセルフ・リメイクしました。

松任谷由実、大貫妙子、来生たかお等の豪華シンガー・ソングライターが提供した80年代のヒット曲から、鈴木慶一、トーレ・ヨハンソンと組んで「シンガー＝原田知世」像を確立した90年代、そして高橋幸宏とのユニット Pupa への参加や伊藤ゴローとのタッグにより、ヴォーカリストとしてさらなる表現の深みを感じさせる2000年以降の楽曲までをまんべんなく網羅。これまでの原田知世の物語キャリアに葉のように挟みこまれた楽曲の数々を厳選し、歌手としての足跡を改めて辿ります。

プロデュース及びアレンジを務めるのは、2007年以降タッグを組んでいるギタリスト/作曲家の伊藤ゴロー。バックを固めるバンドは、近年レコーディングやツアーを共にしている信頼するミュージシャンたちです。

アルバムの幕開けにふさわしい大胆なストリングス・アレンジが施された「時をかける少女」、先行シングルとしてリリースされた春の定番曲「ロマンス」や「愛のロケット」、ギターやピアノとのデュオでしっとり歌う「天国にいちばん近い島」や「ときめきのアクシデント」、そして、冒頭で原田知世がギターの弾き語りを披露する「くちなしの丘」まで、独特の透明感と凛とした輝きはそのままに、オリジナル・ヴァージョンよりも奥深い表情を湛えた歌声を聴かせます。